

## 第4学年 国語科学習指導案

### 1 単元名 説明のしかたについて考えよう 「アップとルーズで伝える」

### 2 指導観

- 本学年の子どもたちは、1学期単元「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」において、筆者の考えを読み取るために、段落相互のつながりや事実・説明・筆者の考えの関係をとらえる説明的文章の学習をしてきている。

これらの学習を通して、初め（話題提起）・中（事例）・終わり（まとめ）という説明文の構成をとらえることができるようになってきている。しかし、段落の要点をまとめることや段落相互の関係をとらえることはまだ十分ではない。

話すことに関しては、小グループの中では自分の考えを言うことができるようになってきているが、考えを出し合うだけで、考えの同じところや違うところを話し合ったり、考えを深めていったりするまでには至っていない。全体の場合での発表になると、全員が積極的に発表するまでには至らず、限られた子どもたちだけの発表になってしまうことが多い。また、聞くことに関しては、話している人の方を向いて反応しながら聞く態度は身につけてきている。そこで、話の中心に気をつけながら聞いたり、自分の考えと比べながら聞いたりする力を付けていくことは意義深いと考える。

- 本単元は、テレビや新聞などを通して届けられる映像や写真が、送り手の意図によってアップとルーズの映像技法を取捨選択されたものであることについて対比的に述べた説明文である。メディアからの影響を強く受け、情報をそのまま受け止めているであろう子どもたちにとって身近な内容であり、学習したことを実際にテレビや新聞で確かめることができる。

文章構成の特色としては、①②③段落で問題を提起し、④⑤⑥段落でテレビの映像について説明している。⑦段落は新聞の場合、⑧段落は全体のまとめというわかりやすい文章構成となっている。叙述の特色としては、「このように」に着目させることで事例とまとめの段落をつないで段落相互のつながりを読んだり、「しかし」・「でも」の接続語を読むことで段落内のつながりをとらえ、段落の要点をまとめたりすることができる。また、写真と言葉をつないでアップとルーズの技法が相互に補足し合っている長所と短所を視覚的にとらえることができる。

このような特色から、伝えるときには「目的」を明らかにし「伝える」ことが大切であるという見方・考え方を育てることができる教材である。

『仕事リーフレット』を作ろうでは、伝えたいことに合わせて写真を選び、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して、説明文に表現させていく。日ごろ気付きにくい学校を支える人の仕事に興味をもたせ、「アップとルーズで伝える」の学習を意識しながら主体的に取材・情報の選択・表現・発信を体験していく構成となっている。

- 本単元の指導にあたっては、まず、題名と冒頭の部分をつないで「アップとルーズではどんな違いがあるのだろうか。」「どうしてアップとルーズで伝えるのだろうか。」という読みのめあてをつくる。次に、全文を読み通して、難語句については辞書を活用して確認し、写真とつないで確かめるようにする。読みのめあての答えを書きまとめる際には、文章構成をもとに、写真とつながる文章がどの段落に書かれているかを意識させ、読みのめあての答えが書いてある箇所を考えさせていく。読み確かめていく段階では、「目的におうじて」「受け手が知りたいこと」「送り手が伝えたいこと」ということについて段落と段落をつないで読み確かめる。その際、読み確かめの根拠を明らかにし、写真と言葉をつないで読み進めながら、アップとルーズのよさを明らかにさせる。その後、アップとルーズの事例を比較した上で、まとめの段落の「受け手」・「送り手」という言葉とつないで筆者が伝えたかったことをとらえていくようにする。また、「伝え合う力」を高めていくために、自分の考えをしっかりと書く時間を確保し、伝え合うことに意欲をもたせる。さらに、小グループでの話し合い活動を取り入れることで、その後の全体での話し合い活動がより活発になっていくようにする。話し合い活動では、学級に掲示してある、話し方・聞き方を意識するように声をかける。振り返り活動では、「今日の学習で」を書き、自分の考えの深まりを確かめさせる。

最後に、「仕事リーフレット」作りを通して、写真と文章を対応させた説明のしかたを工夫し、段落相互の関係に注意して書く活動へつなげていく。

### 3 単元目標

- 伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てていこうとすることができる。
- 段落ごとの要点を読む読み方、段落相互のつながりを読む読み方、段落構成の意図を読む読み方を身に付けることができる。
- 小グループや全体での話し合い活動を通して、話し方・聞き方の資料を活用し、根拠を挙げながら話したり聞いたりすることができる。

### 4 学習指導計画：全16時間

(手だて ※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※環境)

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
1	1 単元名，リード文を読む。	○単元名「説明のしかたについて考えよう」とリード文から，筆者が何をどのように説明しているかを考えていくということを知らせる。
	題名と冒頭を読んで，読みのめあてをつくることができる。	
	2 単元名と，題名と冒頭をつないで読み，読みのめあてをつくる。	

	<p>(1) 題名について話し合う。</p> <p>(2) 写真と叙述をつないで、冒頭を読み、アップとルーズの撮り方の違いをとらえる</p> <p>読みのめあて</p> <p>① アップとルーズではどんな違いがあるのだろう。</p> <p>② どうしてアップとルーズで伝えるのだろう。</p>	<p>○アップとルーズの両方が伝える手段であることをとらえさせる。</p> <p><b>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</b></p> <p>○写真と文をつないで読ませる。</p> <p><b>※3 自己評価をさせ、話し方・聞き方について振り返らせる。</b></p>
2	<p>1 新出漢字や難語句について調べる。</p>	<p>○難語句については、辞書を使って調べさせる。</p>
3	<p>1 形式段落①～⑧に番号を打つ。</p> <p>①②③問題提起</p> <p>④アップの説明</p> <p>⑤ルーズの説明</p> <p>⑥テレビのまとめ</p> <p>⑦新聞の場合</p> <p>⑧まとめ</p> <p>2 読みのめあてに対しての答えがどこに書いてあるのかを読み取り、まとめる。</p>	<p>○全文を読んで、文章構成をとらえ、読みのめあての答えを書きまとめることができる。</p> <p>○形式段落①～⑧に数字を打ち、全体が8段落で構成されていることをとらえさせる。</p> <p>○文章構成をもとに写真とつながる文章がどの段落に書かれているかを意識させ、まとめさせる。</p> <p><b>※3 自己評価をさせ、話し方・聞き方について振り返らせる。</b></p>

4	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">読みのめあての答えを出し合い、読み確かめの学習計画を立てること</p> <p>1 本時のめあてを確認する。 2 読みのめあての答えを出し合い、読み確かめの学習計画を立てる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">読みのめあての答え ① アップでは、細かい部分の様子が伝えられるが、うつされていない多くの部分のことは伝えられない。ルーズでは、広いはんいの様子が伝えられるが、うつされているものの細かい部分やそこから分かることは伝えられない</p>	
5 4の2 本時 5 / 1 6	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アップで伝えられること、伝えられないことを読み確かめることがで</p> <p>1 前時を想起し、本時のめあてを確認する。 2 伝えられることについて話し合う。 (1)「細かい部分の様子」とは何か考え、そこから伝わることを書き込む。 (2) 書いたことをもとに小グループで話し合う。 (3) 全体で話し合う。 3 伝えられないことについて話し合う。 (1) 伝えられないことは何か書き込む。 (2) 書いたことをもとに話し合う。 4 本時学習をまとめ、振り返り、次時の確認をする。</p>	<p><b>※1 叙述と写真をつないで書かせる。</b> <b>※2 全体で話し合う前に小グループで考えを話し合わせ、新しい考えがあれば付け加えさせる。</b></p> <p>○「両手を広げて」「風をはらみ」「口を大きく開けて」の叙述に着目して考えさせる。 <b>※環学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</b></p> <p>○接続語「しかし」に着目させる。 ○写真の選手以外の全体の様子が伝えられないということを押さえる。 <b>※3 振り返りとして自分の考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</b> <b>※3 自己評価で話し方・聞き方を振り返らせる。</b></p>
6 4の1 本時 6 / 1	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ルーズで伝えられること、伝えられないことを読み確かめることがで</p> <p>1 前時を想起し、本時のめあてを確認する。</p>	

<p>6</p>	<p>認する。</p> <p>2 本時場面を音読する。</p> <p>3 学習プリントに本時のめあてについての自分の考えを書き込む。</p> <p>4 書いたことをもとに話し合う。</p> <p>(1) ルーズで伝えられることについて話し合う。</p> <p>(2) ルーズでは伝えられないことについて話し合う。</p> <p>5 本時学習をまとめ、振り返り、次時の確認をする。</p>	<p>※1 叙述と写真をつないで書かせる。</p> <p>※<b>環</b>学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>○「あちこちでふられる旗、たれまく」「立ち上がっている観客」「手をあげる選手たち」に着目して考えさせる。</p> <p>○接続語「でも」に着目させる。</p> <p>※2 全体で話し合う前に小グループで考えを話し合わせ、新しい考えがあれば付け加えさせる。</p> <p>※3 振り返りとして自分の考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</p> <p>※3 自己評価で話し方・聞き方を振り返らせる。</p>
<p>7 4の3 4の4 本時 7 / 1 6</p>	<div data-bbox="323 1037 1399 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>アップとルーズをくらべて、分かることを読み確かめることができる。</p> </div> <p>1 前時を想起し、本時のめあてを確認する。</p> <p>2 6段落を音読し、アップとルーズを比べて分かることを書き込み、話し合う。</p> <p>4 7段落を音読し、新聞での写真の選び方を書き込み、話し合う。</p>	<p>※<b>環</b>振り返りやすいように学習の足跡を掲示する。</p> <p>○「このようにアップとルーズには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがあります。」に着目させる。</p> <p>※1 前時までの学習プリントや掲示物を参考にして書き込ませる。</p> <p>※2 全体で話し合う前に小グループの中で話し合わせ、それをもとに全体で話し合うようにさせる。</p> <p>※<b>環</b>学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</p> <p>○テレビと同じように新聞も、目的に応じてアップとルーズを使い分けていることを押さえる。</p> <p>※2 全体で話し合う前に小グループの中で話し合わせ、それをもとに全体</p>

	<p>5 8段落を音読し、「目的におうじて」とはどういうことなのか、全体とつなげながらまとめる。</p> <p>6 本時学習をまとめ、振り返り、次時の確認をする。</p>	<p><b>で話し合わせる。</b></p> <p>○「目的におうじて」とは、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えることであることを押さえる。</p> <p><b>※3 振り返りとして自分の考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</b></p> <p><b>※3 自己評価をさせ、話し方・聞き方について振り返らせる。</b></p>
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>読み確かめたことをもとに読みのめあてに戻り、読みのまとめをすることができる。</p> </div> <p>1 今までの学習を振り返る。</p> <p>2 「伝える」ということについて、自分の経験を振り返る。</p> <p>3 「伝える」ということについて書きまとめる。</p> <p>4 本時学習をまとめ、振り返り、次時の確認をする。</p>	<p>○テレビでも新聞でも目的に合わせて、アップとルーズを使っていることを確認させる。</p> <p>○自分が今まで見ていたテレビや新聞では、アップとルーズの使われ方とその目的を意識していたかを振り返らせる。</p> <p>○学習してきたことと今までの自分をつなぎ、「伝える」ということについての見方・考え方を広げることができるようにする。</p> <p>○学習してきたことを生かしながら、次時から仕事リーフレット作りをしていこうという意欲を持たせる。</p> <p><b>※3 振り返りとして自分の考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</b></p> <p><b>※3 自己評価をさせ、話し方・聞き方について振り返らせる。</b></p>
9～ 16	<p>1 「写真と文で説明しよう 『仕事リーフレット』を作ろう」を読み、学習の見通しを持ち、計画を立てる。</p> <p>2 インタビューの計画を立てる。</p> <p>3 計画にしたがって取材する。</p> <p>4 取材したことを整理し、リーフレ</p>	<p>○写真と文章で構成したリーフレットのモデルを提示し、出来上がりのイメージをつかませる。</p> <p>○「誰に」「どんなことを聞くのか」を考えさせる。</p> <p>○インタビューメモを作り、それをもとにインタビューさせる。</p> <p>○インタビューメモから知らせたい内</p>

	<p>ットの組み立てを考え，写真と対応させながら説明文を書く。</p> <p>5 書きあがったリーフレットを互いに読みあい推敲する。</p> <p>6 清書し，仕上げる。</p> <p>7 他のグループの作品を見て感想を出し合う。</p>	<p>容を決めさせ，それにあわせて写真を選ばせる。</p> <p>○アップとルーズの写真の選び方を工夫させる。</p> <p>○写真と文章を対応させながら説明する文を書かせる。</p> <p>○相互評価をさせ，自分の学習に生かすように助言する。</p>
--	---	--

## 第4学年 組 本時学習指導案

### 5 本時（5 / 16）

#### 6 本時の目標

- アップで伝えられること，伝えられないことを，叙述と写真をつないで読み取ることができる。
- 自分の考えの根拠を明らかにしながら話したり，友達の考えを自分の考えと比べながら聞いたりすることができる。

#### 7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは，読みのめあての答えを学級でまとめ，学習計画を立てている。本時は，アップで伝えられることと伝えられないことを読み確かめることをねらいとしている。

はじめに，アップで伝えられる「細かい部分の様子」について読み確かめていく。

そのために，まず「細かい部分の様子」とはどういう様子なのか，指し示す言葉に線を引かせる。そしてそこから何が伝わってくるのか考え，学習プリントに書き込みをさせる。その際，叙述と写真をつないで考えさせていく。書き込みが終わったら，小グループで考えを伝え合わせ，それによって自分の考えを広げたり，進んで全体の話し合いに臨んだりできるようにする。友達の考えを聞いて，自分の考えに新しく付け加えることがあれば，プリントに書き加えるように指示しておく。

全体の話し合いの際は，「両手を広げて」「ユニホームは風をはらみ」「口を大きく開けて」の叙述と写真をつないで分かることに着目させながら，読み確かめていく。

次に，接続語の「しかし」に着目させ，アップで伝えられないことについて読み確かめていく。伝えられないことを指し示す言葉に線を引かせ，どういうものが伝わらないのか具体的に書き込み，話し合いでは写真の選手以外の全体の様子が伝えられないということを押さえる。

最後に，めあてに戻り，本時で読み確かめたアップで伝えられることと伝えられないことを自分の考えの深まりに着目しながら書きまとめさせる。また話し方・聞き方について自己評価をさせ，振り返らせるようにする。次時ではルーズで伝えられることと伝えられないことについて学習するというを確認する。

#### 8 準備

- 教師 アップの写真 学習プリント 既習掲示物
- 児童 教科書 学習プリントつづり

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
1 前時を想起し、めあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて アップで伝えられることと伝えられないことを読み確かめよう。</p> </div>	
<p>2 伝えられることについて話し合う。</p> <p>(1) 「細かい部分の様子」から伝わってくることを書き込む。</p> <p>(2) 小グループで話し合う。</p> <p>(3) 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「両手を広げて」から点を入れたのをアピールして喜んでいるのが伝わる。</li> <li>・「ユニホームは風をはらみ」から、すごく速く走っていて、うれしくて興奮していることが伝わる。</li> <li>・「口を大きく開けて」から、声を出して喜んでいることが分かる。</li> </ul>	<p>○音読し、「細かい部分の様子」にあたる叙述に線を引き、そこから何が伝わってくるか考えさせる。</p> <p><b>※1 叙述と写真をつないで書かせていく。</b></p> <p><b>※2 全体で話し合う前に小グループで考えを話し合わせ、新しい考えがあれば付け加えさせる。</b></p> <p>○どんなときに両手を広げて走るかを想像させ、「両手を広げて」を解釈させる。</p> <p>○どのように走ったらユニホームが風をはらむのか想像させ、選手の喜びの大きさとつなぐ。</p> <p>○「口を大きく開けて」何をしているのかを問う。</p> <p><b>※環 学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</b></p>
<p>3 伝えられないことについて話し合う。</p> <p>(1) 伝えられないことは何か、書きこむ。</p> <p>(2) 全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・得点したチームの他の選手の様子</li> <li>・得点されたチームの選手の様子</li> <li>・応援席の人や監督の様子</li> </ul>	<p>○接続語「しかし」に着目し、伝えられないことに線を引き、「うつされていない多くの部分」が何かを考えさせる。</p> <p>○写真の選手以外の多くの様子が伝えられないということから、アップでは全体の様子が伝わらないということを押さえる。</p>
<p>4 本時学習をまとめ、振り返る。</p>	<p><b>※3 振り返りとして、自分の考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</b></p> <p><b>※3 自己評価で話し方・聞き方を振り返らせる。</b></p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ アップでは、応援席や他の選手のことなど全体の様子が伝えられないけれど、うつっている選手の体の動きや顔の表情など細かい部分の様子から喜んでいる気持ちが伝えられる。</p> </div>	
<p>5 次時の見通しをもつ。</p>	<p>○次時は、ルーズについて学習することを知らせる。</p>

## 第4学年 組 本時学習指導案

### 5 本時（6 / 16）

### 6 本時の目標

- ルーズで伝えられること、伝えられないことを、叙述と写真をつないで読み取ることができる。
- 自分の考えの根拠を明らかにしながら話したり、友達の考えを自分の考えと比べながら聞いたりすることができる。

### 7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは「アップ」について学習しており、本時は、ルーズで伝えられること、伝えられないことを読み確かめることをねらいとしている。

そこでまず、めあてを確認し、既習掲示物を見ながら前時のアップのように伝えられることと伝えられないことを読み確かめていくという見通しをもつ。次に本時の段落を音読をし、ルーズで伝えられることと伝えられないことに線を引く。そして、一人ひとりが学習プリントに、「あちこちでふられる旗、たれまく」「立ち上がっている観客」「それに向かって手をあげる選手たち」の3点を中心に、どんなことが伝わってくるか、また伝わってこないかを叙述と写真をつないで読み取ったことを書き込む。

小グループでの話し合いでは、自分の考えを確かめるとともに友達の考えを聞いてより深まった考えを付け加えて書く時間をとる。その後全体での話し合いを行う。伝えられることでは、「選手とおうえんした人たちが一体となって勝利を喜び合っています」とつないで、広いはんいの多くの様子が伝わってくることに気付かせるようにする。

さらに、接続語の「でも」以降に書かれていることから、ルーズで伝えられないことは「選手一人ひとりの表情や気持ち」などの細かい様子であることをおさえる。

最後に、めあてに戻ってルーズで伝えられることと伝えられないことを書きまとめ、話し方・聞き方についても自己評価をし、本時の学習を振り返らせる。

### 8 準備

- 教師 拡大したルーズの写真 学習プリント 既習掲示物
- 児童 教科書 学習プリントつづり

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
1 めあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     めあて                      ルーズで伝えられることと伝えられないことを読み確かめよう。                 </div>	
2 本時場面を音読する。	○伝えられることと伝えられないことを見つけながら読むようにさせる。
3 学習プリントに自分の考えを書き込む。 (1) ルーズで伝えられることと伝えられないことに線を引く。 ○伝えられること ・「あちこちでふられる旗、たれまく」 ・「立ち上がっている観客」 ・「それに向かって手をあげる選手たち」 ○伝えられないこと ・「でも、～」 (2) 線を引いた箇所と写真をつないで、伝えることと伝わらないことを書き込む。	○線を引いた箇所を確認し、接続語「でも」によって伝えられることと伝えられないことに分けられることに気付かせる。ルーズではどんなことが伝わってくるか、どんなことが伝わってこないかを考えさせる。 <b>※1 叙述と写真をつないで読み、自分の考えをプリントに書きこませる。</b>
4 書いたことをもとに話し合う。	
(1) 「伝えられること」について話し合う。 ・旗があちこちでゆれているから、みんな楽しそうだ。 ・立ち上がるのは嬉しいときだから、みんなが喜んでいようだ。 ・手をあげるのは応援してくれてありがとうという気持ちを伝えたいからではないか。 ・多くの人が盛り上がっている雰囲気が伝わってくる。 (2) 「伝えられないこと」について話し合う。 ・表情が見えないから、一人ひとりの気持ちまではわからない。 ・一人ひとりの気持ちは伝わらない。	<b>※2 全体で話し合う前に小グループで考えを話し合わせ、新しい考えがあれば付け加えさせる。</b> <b>※環 学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</b> ○伝わってきたことを「選手とおうえんした人たちが一体となって勝利を喜び合っています」とつないでいくことで、ルーズで伝えられることをまとめる。  ○多くのものや人が見えるけれど、細かい部分を見ることはできないということに気付かせる。
5 本時学習をまとめ、振り返る。	<b>※3 振り返りとして、自分の考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</b> <b>※3 自己評価で、話し方・聞き方を振り返らせる。</b>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     まとめ                      ルーズでは、一人ひとりの選手や観客の細かい様子や気持ちまでは伝わらないけれど、多くの人が喜び全体が盛り上がっているという雰囲気を伝えられる。                 </div>	
6 次時の見通しをもつ。	○次時は、今まで読み取ったアップとルーズについて対比することを知らせる。

## 第4学年 組 本時学習指導案

### 5 本時 (7/16)

#### 6 本時の目標

- テレビでも新聞記事(写真)でも、アップとルーズでお互いできないことをおぎない合って、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えながら伝えていることを読み確かめることができる。
- 友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、根拠を挙げながら自分の考えを話すことができる。

#### 7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、アップとルーズそれぞれで伝えられることと伝えられないことを読み確かめてきている。

そこで本時は、アップとルーズを比べて分かることを考えながら、目的に応じて使い分けていることや使い分ける良さを読み確かめることをねらいとしている。

そのために本時では、まず、前時までの掲示物で、アップとルーズではそれぞれに伝えられることと伝えられないことがあったことを振り返る。めあてを確認した後、6段落を読み、テレビでのアップとルーズを比べて分かることを話し合う。その際、自分の考えをプリントに書き込んだ後、小グループでの話し合い、全体での話し合いと進めて自分の考えをより確かにさせ、活発に伝え合うことができるようにしていく。また、前時までの掲示物にクロスラインを入れることにより、アップとルーズを使い分けて、伝えたいことが伝えられるように、お互いに補い合っているということをとらえさせるようにする。そのために、前時までのプリントを比較しやすいようにしっかりまとめさせておく。

次に、7段落では新聞の写真ではどうしているかを話し合い、静止画である写真もテレビと同じように目的に応じてアップとルーズを使い分けていることに気付かせる。その時、実際の新聞記事の写真を提示して、読み取ったことを確かめさせるようにする。さらに、8段落を読み、「目的におうじて」とはどういうことかを全体とつなげながら考えさせ、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えることであることをおさえる。全体をつなげながら考えやすいように、板書もつなげていき、視覚的にも分かりやすいようにしていく。

最後に、本時のまとめでは、アップとルーズはお互いできないことを補い合うことができ、目的に応じて切り替えながら伝えていることをまとめられるようにする。そして、自分の話し方・聞き方を自己評価することで本時の学習を振り返らせる。

#### 8 準備

- 教師 新聞記事 学習プリント 既習掲示物
- 児童 教科書 学習プリントつづり

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
1 前時までの学習を想起する。 ・アップとルーズについて学習したこと 2 本時のめあてを確認する。	<b>※<b>環</b>振り返りやすいように学習の足跡を掲示する。</b>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>めあて</b>                              アップとルーズをくらべて、分かることを読み確かめよう。</p> </div>	
3 6段落を音読し、アップとルーズを比べて分かることを話し合う。 (1)テレビではどうしているかを考えて書き込む。 (2)小グループで話し合う。 (3)全体で話し合う。 ・アップでできないことがルーズできて、ルーズでできないことがアップできていること ・目的におうじてアップとルーズを切りかえながら放送していること ・おたがいにできないことをおぎなっていること	○お互いできないところはどのようにしているか、考えながら読ませる。 ○接続語「このように」に着目させ、前に書いてあることをまとめる際に使うことを確認させる。 <b>※1 前時までの学習プリントや掲示物を参考にして書き込ませる。</b> ○前時までの掲示物を比較してクロスラインを入れ、目的に応じてアップとルーズでは、お互いに補い合っている 関係であることを、よりはっきりとらえさせる。 <b>※2 小グループで話し合ったことをもとに全体で話し合っていくようにする。</b> <b>※<b>環</b>学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。</b>
4 7段落を音読し、新聞での写真の選び方を話し合う。 (1)新聞ではどうしているかを書き込む。 (2)小グループで話し合う。 (3)全体で話し合う。 ・テレビと同じで、目的にいちばん合うものを選んで使っていること	○テレビと同じように、新聞(写真)も目的に応じてアップとルーズを使い分けていることを押さえる。 <b>※2 小グループで話し合ったことをもとに全体で話し合っていくようにする。</b>
5 8段落を音読し、「目的におうじて」とはどういうことなのか、今までの読み取りとつながらまとめる。 ・テレビでも新聞でも相手や目的におうじてアップとルーズを使い分けていること	○「目的におうじて」とは、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えることであることを板書をつながていきながらおさえる。
6 本時学習をまとめ、振り返る。	<b>※3 振り返りとして、考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。</b> <b>※3 自己評価で、「話し方・聞き方」を振り返らせる。</b>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>まとめ</b>                              テレビでも新聞(写真)でも、アップとルーズでお互いできないことをおぎない合っ                              て、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えながら伝えている。</p> </div>	
7 次時の確認をする。	○次時は、読み確かめたことをもとに、読みのまとめをすることを知らせる。

## 第4学年 組 本時学習指導案

### 5 本時 (7/16)

#### 6 本時の目標

- テレビでも新聞記事(写真)でも、アップとルーズでお互いできないことをおぎない合って、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えながら伝えている。
- 友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、根拠を挙げながら自分の考えを話すことができる。

#### 7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、アップとルーズそれぞれで伝えられることと伝えられないことを読み確かめてきている。

そこで本時は、アップとルーズを比べて分かることを考えながら、目的に応じて使い分けていることや使い分ける良さを読み確かめることをねらいとしている。

そのために本時では、まず、前時までの掲示物で、アップとルーズではそれぞれに伝えられることと伝えられないことがあったことを振り返る。めあてを確認した後、6段落を読み、テレビでのアップとルーズを比べて分かることを話し合う。その際、自分の考えをプリントに書き込んだ後、小グループでの話し合い、全体での話し合いと進めて自分の考えをより確かにさせ、活発に伝え合うことができるようにしていく。また、前時までの掲示物にクロスラインを入れることにより、アップとルーズを使い分けて、伝えたいことが伝えられるように、お互いに補い合っているということをとらえさせるようにする。

次に7段落では新聞の写真ではどうしているかを話し合い、静止画である写真もテレビと同じように目的に応じてアップとルーズを使い分けていることに気付かせる。その時、実際の新聞記事の写真を提示して、読み取ったことをより実感を伴って確かめることができるようにする。

さらに8段落を読み、「目的におうじて」とは、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えることであることをおさえる。その際、6段落と7段落の末尾の一文を確認することにより8段落が文章全体のまとめとなっていることをとらえさせたい。

最後に、本時のまとめでは、アップとルーズはお互いできないことを補い合うことができ、目的に応じて切り替えながら伝えていることをまとめられるようにする。そして、自分の話し方・聞き方を自己評価することで本時の学習を振り返らせる。

#### 8 準備

- 教師 新聞記事 学習プリント 既習掲示物
- 児童 教科書 学習プリントつづり

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
1 前時までの学習を想起する。 ・アップとルーズについて学習したこと 2 本時のめあてを確認する。	※環境振り返りやすいように学習の足跡を掲示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         めあて                          アップとルーズをくらべて、分かることを読み確かめよう。                     </div>	
3 6段落を音読し、アップとルーズを比べて分かることを話し合う。 (1)テレビではどうしているかを考えて書き込む。 (2)小グループで話し合う。 (3)全体で話し合う。 ・アップでできないことがルーズでできて、ルーズでできないことがアップでできていること ・目的におうじてアップとルーズを切りかえながら放送していること	○接続語「このように」に着目させ、前に書いてあることをまとめる際に使うことを確認させる。 ※1 前時までの学習プリントや掲示物を参考にして書き込ませる。 ○前時までの掲示物にクロスのラインを入れることで、アップとルーズはお互いに補い合っている関係であることをよりはっきりとらえさせる。 ※2 小グループで話し合ったことをもとに全体で話し合っていくようにする。 ※環境学級の掲示物を使って、話し方・聞き方を意識するように声をかける。
4 7段落を音読し、新聞での写真の選び方を話し合う。 (1)書き込む。 (2)小グループで話し合う。 (3)全体で話し合う。	○文章の内容を実感を伴って理解できるよう、実際の新聞を見せ新聞も目的に応じて使い分けていることを押さえる。 ※2 小グループで話し合ったことをもとに全体で話し合っていくようにする。
5 8段落を音読し、「目的におうじて」とはどういうことなのか、今までの読み取りとつながらながらまとめる。 ・8段落は文章全体のまとめの段落であること ・テレビでも新聞でも相手や目的におうじてアップとルーズを使い分けていること 6 本時学習をまとめ、振り返る。	○6, 7段落の末尾の一文を確認し、8段落の意味を考えさせる。 ○「目的におうじて」とは、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えることであることをおさえる。 ※3 振り返りとして、考えの深まりの観点で「今日の学習で」を書かせる。 ※3 自己評価で、「話し方・聞き方」を振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         まとめ                          テレビでも新聞(写真)でも、アップとルーズでお互いできないことをおぎない合っ                          て、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えながら伝えている。                     </div>	
7 次時の確認をする。	○次時は、読み確かめたことをもとに、読みのまとめをすることを知らせる。

